

**NISSHA**

2024年12月期  
決算説明会

2025年2月13日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 最高経営責任者

鈴木順也

# 本日の内容

- 2024年実績
- 第8次中期経営計画（2024-2026）の進捗  
（ポートフォリオ経営の深化による企業価値の向上）
  - 2025年計画

# ハイライト

## 2024年12月期の実績

- Tailwinds
  - 全事業で前期比 増収増益、需要回復、収益性改善
  - 産業資材：加飾（モビリティ、家電）は需要堅調、サステナブル資材は需要回復
  - デバイス：タブレット、業務用端末が需要回復
  - メディカルテクノロジー：医療機器CDMOは成長継続、買収企業が業績貢献
- Headwinds
  - デバイス：タブレットはH1に前年比で急回復も、ハイエンドモデルについてはH2に反動減

## トピックス

- 国内のメディカル分野を強化：滋賀県製薬（一般用医薬品（OTC） CDMO）を買収
- 無担保社債90億円を発行

## 2024年12月期（通期）の実績

（百万円）

	2023 実績	2024 実績	
		2024 実績	前期比
売上高	167,726	195,598	+16.6%
産業資材	68,762	74,090	+7.7%
デバイス	54,862	67,542	+23.1%
メディカルテクノロジー	36,011	45,622	✓ +26.7%
その他	8,088	8,343	+3.2%
営業利益	※ ▲ 3,817	5,486	黒字化
営業利益率	-2.3%	2.8%	+5.1pt
産業資材	※ 93	4,900	+5,131.3%
デバイス	▲ 1,580	1,798	黒字化
メディカルテクノロジー	1,493	2,388	✓ +60.0%
その他	▲ 3,823	▲ 3,600	-
税引前利益	▲ 2,762	6,213	黒字化
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲ 2,988	3,862	黒字化
為替レート（平均）	¥138/\$	¥149/\$	-

## 2024年12月期 Q4（3カ月）の実績

(百万円)

	2023 Q4 実績	2024 Q3 実績	2024 Q4 実績	前年同期比 (2023 Q4比)	前四半期比 (2024 Q3比)
売上高	43,840	48,740	47,196	+7.7%	▲3.2%
産業資材	17,729	18,094	18,776	+5.9%	+3.8%
デバイス	13,877	17,106	14,161	+2.0%	✓ ▲17.2%
メディカルテクノロジー	9,755	11,613	11,984	+22.8%	+3.2%
その他	2,478	1,926	2,274	▲8.2%	+18.1%
営業利益	※ <sup>1</sup> ▲ 3,403	1,638	▲ 417	-	-
営業利益率	-7.8%	3.4%	-0.9%	+6.9pt	-4.3pt
産業資材	※ <sup>1</sup> ▲ 1,811	1,195	1,006	黒字化	▲15.8%
デバイス	▲ 54	921	✓ ▲ 996	-	-
メディカルテクノロジー	185	810	549	+196.8%	▲32.2%
その他	▲ 1,722	▲ 1,287	▲ 977	-	-
税引前利益	▲ 3,761	▲ 708	※ <sup>2</sup> 934	黒字化	黒字化
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	▲ 3,564	▲ 4	※ <sup>2</sup> ▲370	-	-
為替レート（平均）	¥148/\$	¥153/\$	¥148/\$	-	-
為替レート（期末）	¥142/\$	¥143/\$	¥158/\$	-	-

※1 減損損失▲27億円含む

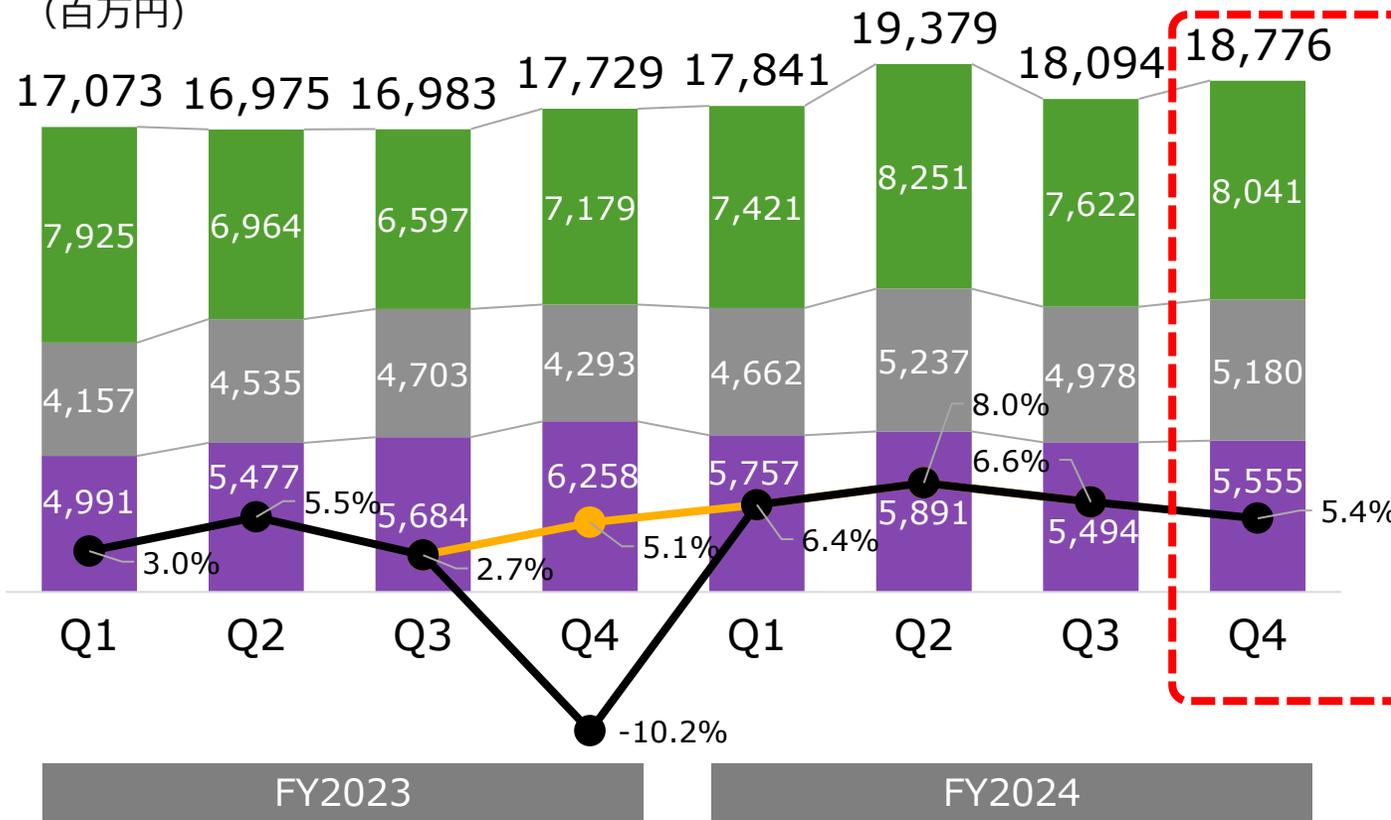
※2 為替差益15億円含む

# 産業資材：2024Q4（3カ月）実績

## 四半期別 売上高・営業利益率

- サステナブル資材（蒸着紙など） ● 営業利益率
- 加飾（家電その他） ● 営業利益率（減損損失除く）
- 加飾（モビリティ）

(百万円)



### ● 売上高

- 加飾：底堅く推移
- サステナブル資材（蒸着紙）：需要堅調

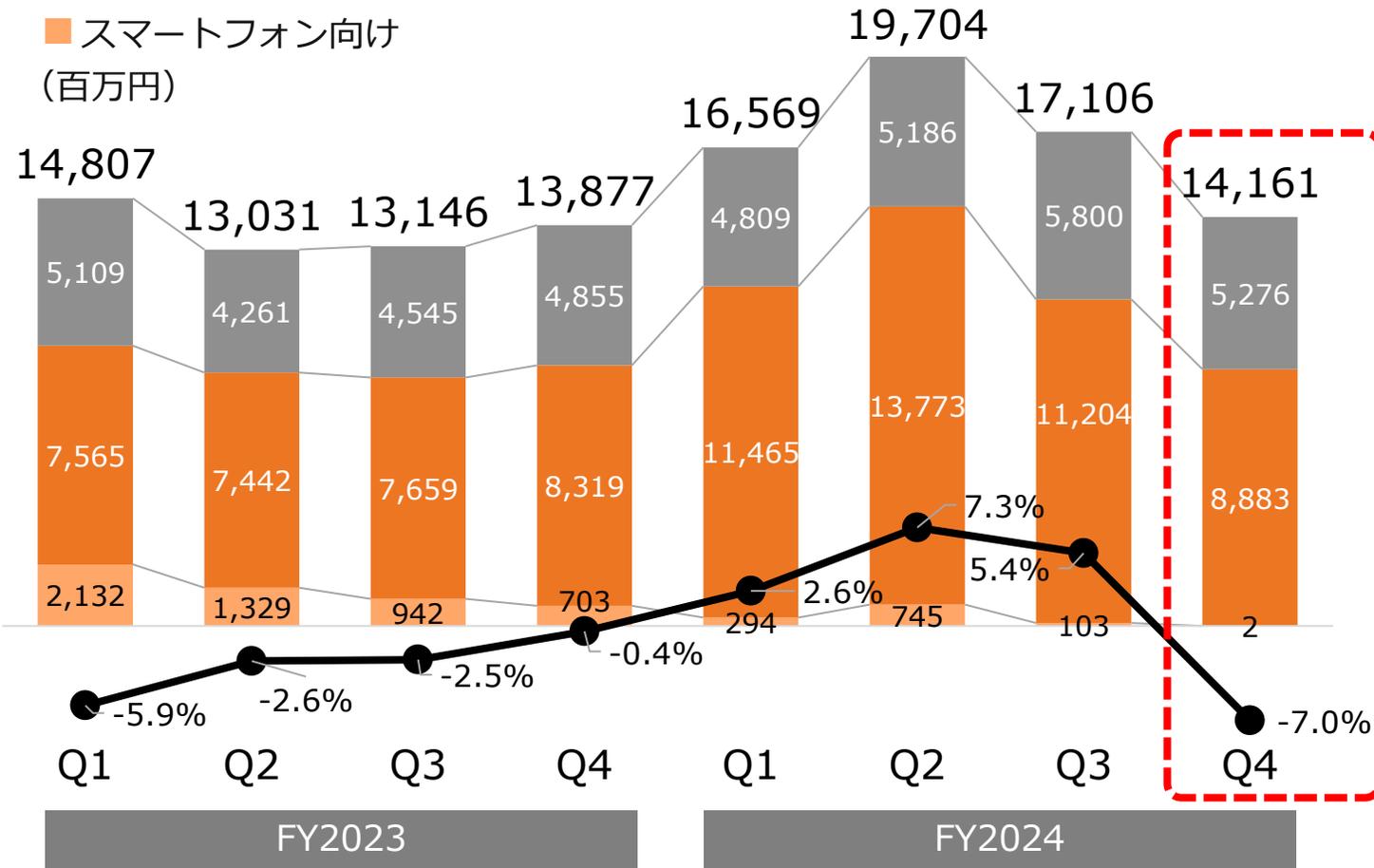
### ● 営業利益

- Q3比▲2億円
- M&A費用など一過性コストを計上 (▲2億円)

# デバイス：2024Q4（3カ月）実績

## 四半期別 売上高・営業利益率

■ ゲーム機・業務用端末（物流関連）・モビリティ向け、ガスセンサーなど  
■ タブレット向け  
■ スマートフォン向け  
● 営業利益率  
 (百万円)



### ● 売上高

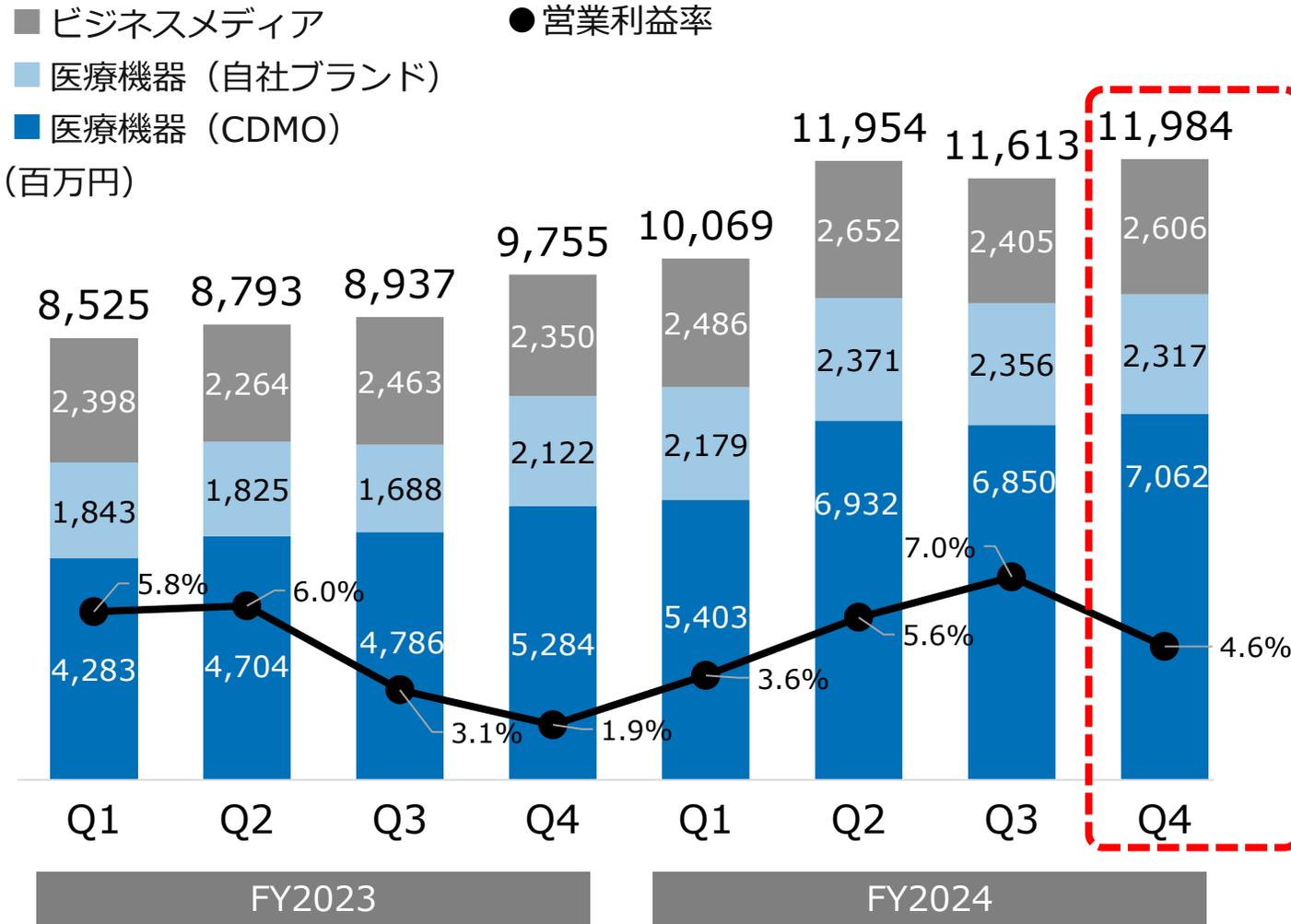
- タブレット：ハイエンドモデルの反動減が継続
- ゲーム機：需要減少
- 業務用端末：需要堅調

### ● 営業利益

- Q3比▲19億円
  - 需要減少による減益（▲10億円）
  - 稼働益の減少（▲2億円）
  - 一部在庫を除却（▲7億円）

# メディカルテクノロジー：2024Q4（3カ月）実績

## 四半期別 売上高・営業利益率



### ● 売上高

- 医療機器CDMO：需要堅調

### ● 営業利益

- Q3比▲2.5億円
  - 医療機器CDMO：増収効果 (+1億円)
  - 自社ブランド：製品ミックス悪化 (▲0.5億円)
  - 一過性費用を計上 (▲3億円)
    - 出資企業 (EndoTheia) のR&D費用増加
    - M&A関連費用
    - 一時的な成果報酬
- 買収企業 (Isometric) のPPA※確定による償却費 (年間2.5億円) をQ1から遡及して計上

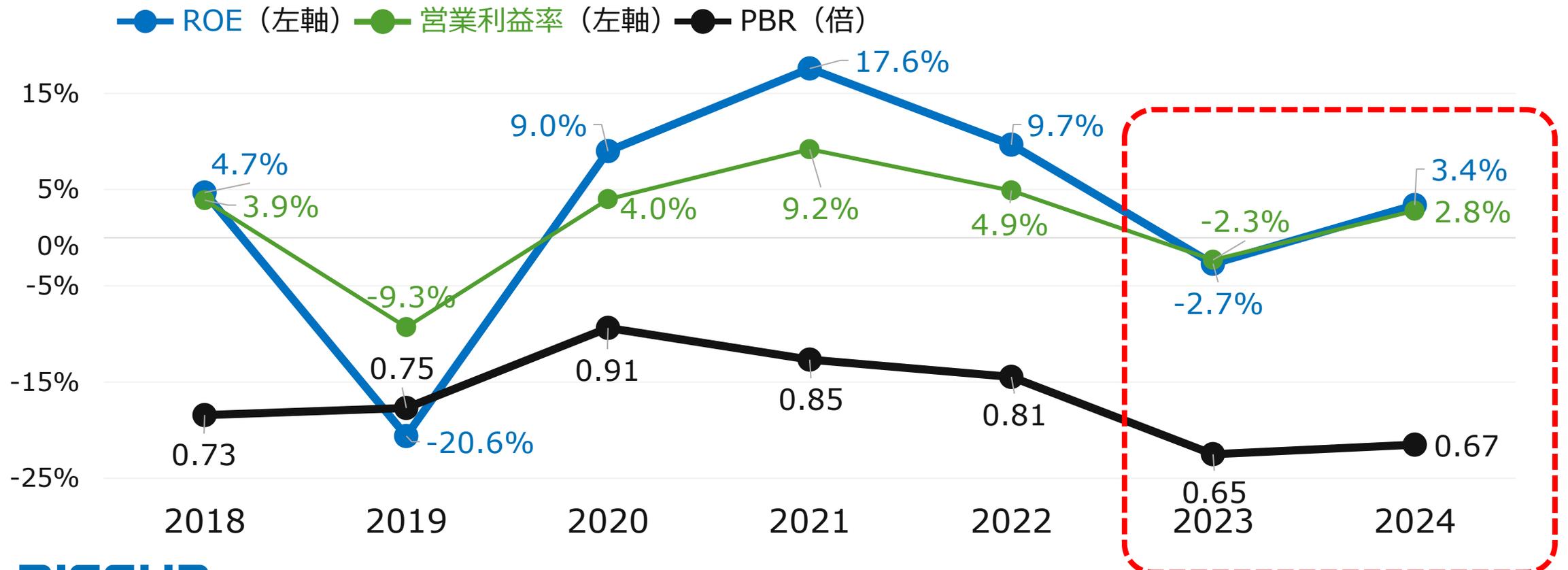
# 第8次中期経営計画（2024-2026）の進捗 （ポートフォリオ経営の深化による企業価値の向上）

## 2025年計画

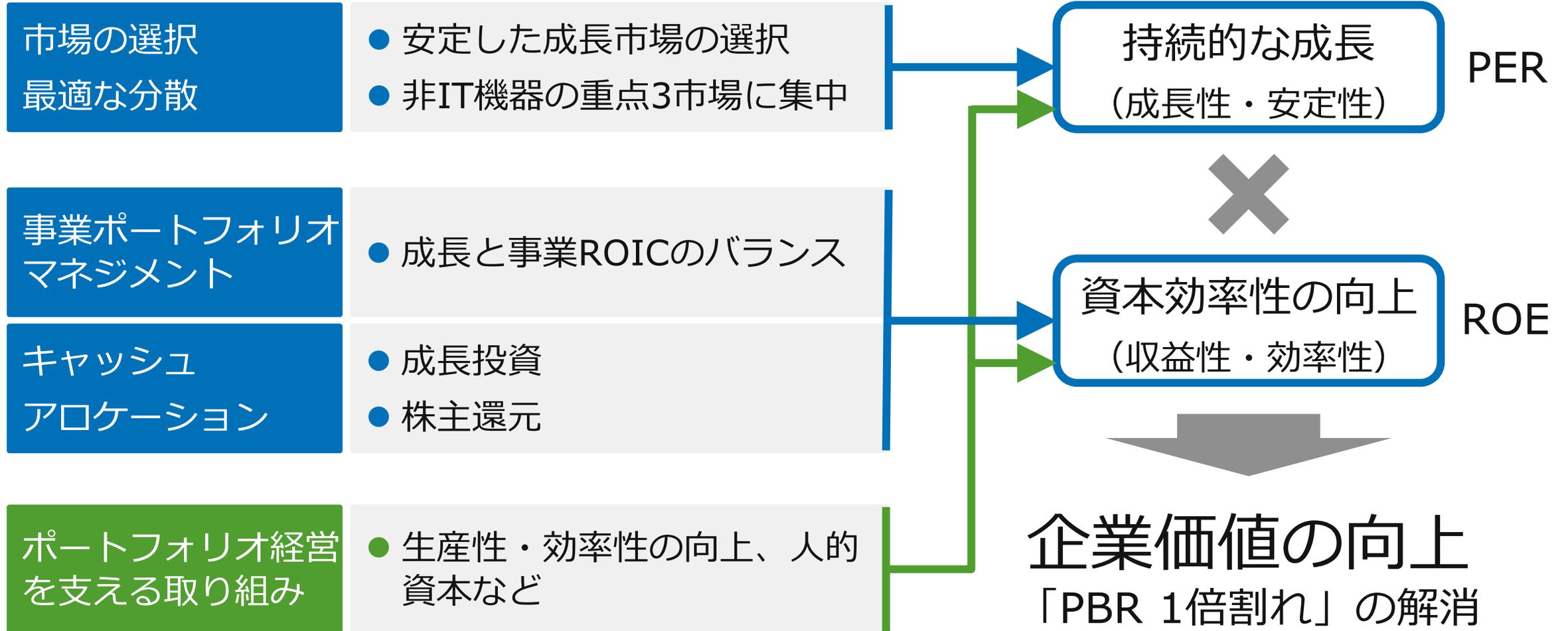
# PBR (PER×ROE) 現状分析 (2024年)

- PBR：低位で推移
- ROE (収益性・効率性)：改善したものの収益性 (営業利益) が低く、株主資本コスト (6-8%※) を下回る

※ CAPMにより算出

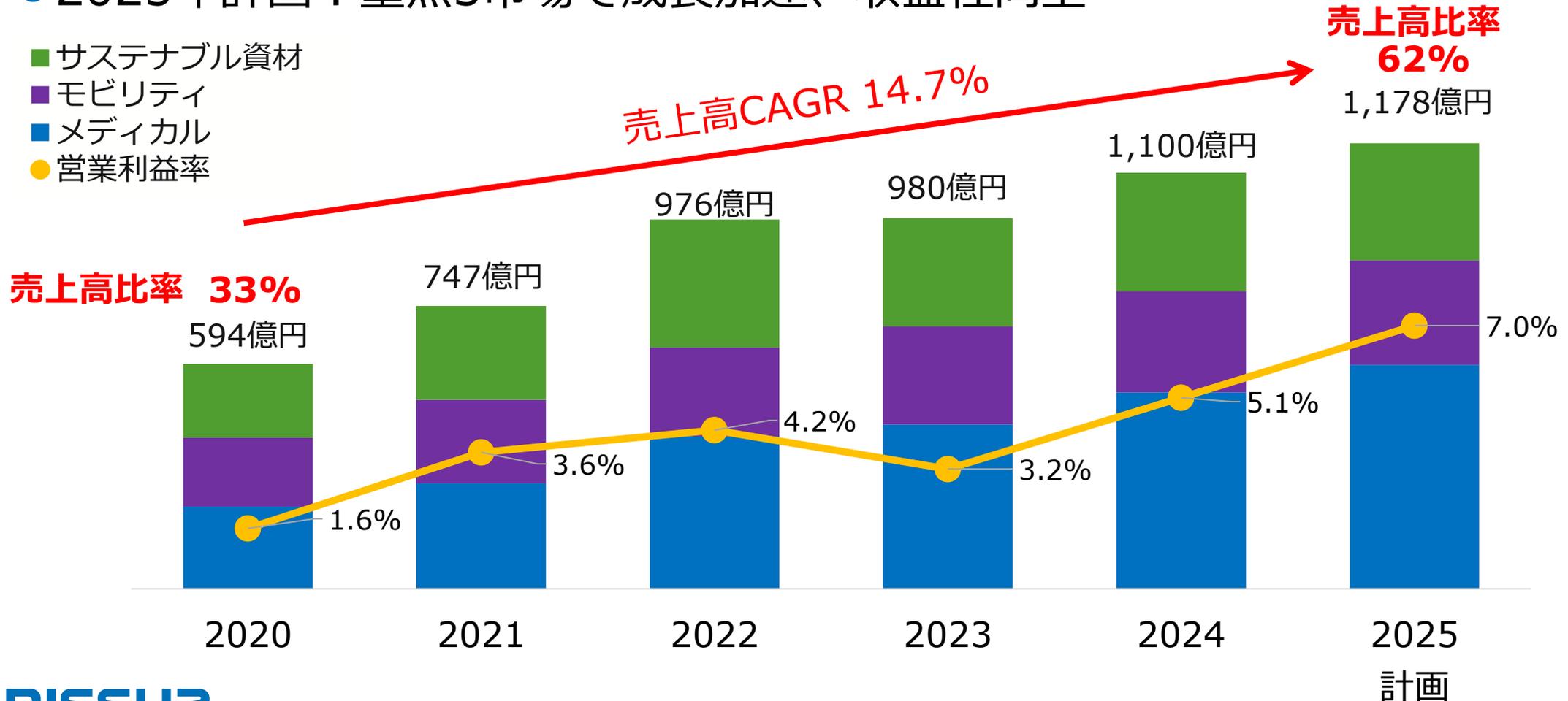


# 持続的な成長、資本効率性の向上により企業価値を高める



# 重点3市場（非IT機器）向けで事業成長、利益率向上

- 2024年実績：メディカルは成長継続、サステナブル資材で需要回復
- 2025年計画：重点3市場で成長加速、収益性向上



# 2024年：メディカル市場での事業拡大

全社を挙げてメディカル市場（医療機器・医薬品・ヘルスケア製品）に挑む

## 医療機器CDMO

売上高成長

**+9.4%**

(現地通貨ベース)

- 成長市場
- 低侵襲医療用手術機器や医療用ウェアラブルセンサーなどが需要堅調

## 医療機器向け射出成形CDMO

Cathtek買収



- 売上高13億円※1
- カテーテル・チューブ向けの射出成形部品
- 産業資材事業のメディカル分野を強化

## 医療機器CDMO

Isometric買収



- 売上高45億円※1
- マイクロ成形
- 低侵襲医療・手術支援ロボットの小型化に貢献

## 医薬品CDMO

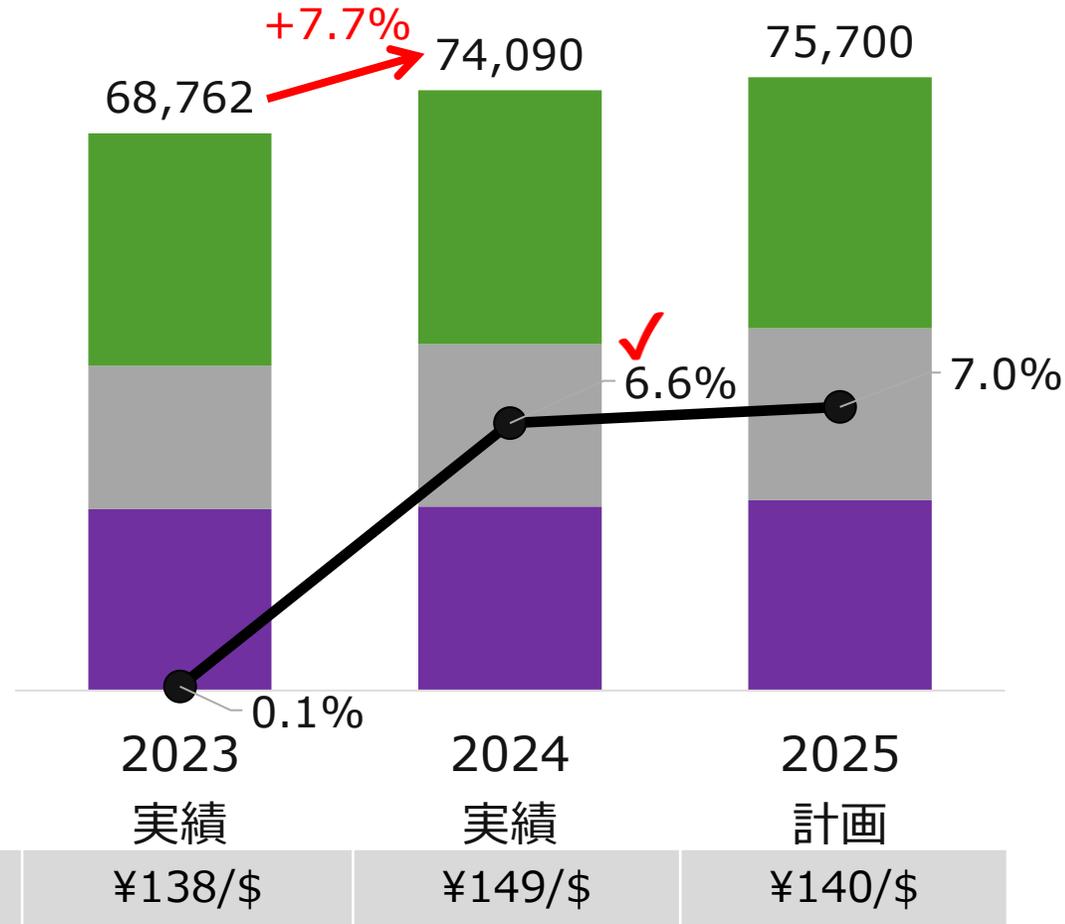
滋賀県製薬買収



- 売上高50億円※1
- 一般用医薬品（OTC）に特化
- スイッチOTCやセルフメディケーションなど事業機会が増加

# 産業資材事業

■売上高 (■サステナブル資材 (蒸着紙など)  
 ■加飾 (家電その他) ■加飾 (モビリティ)) (百万円)  
 ●営業利益率



## 2024年の進捗

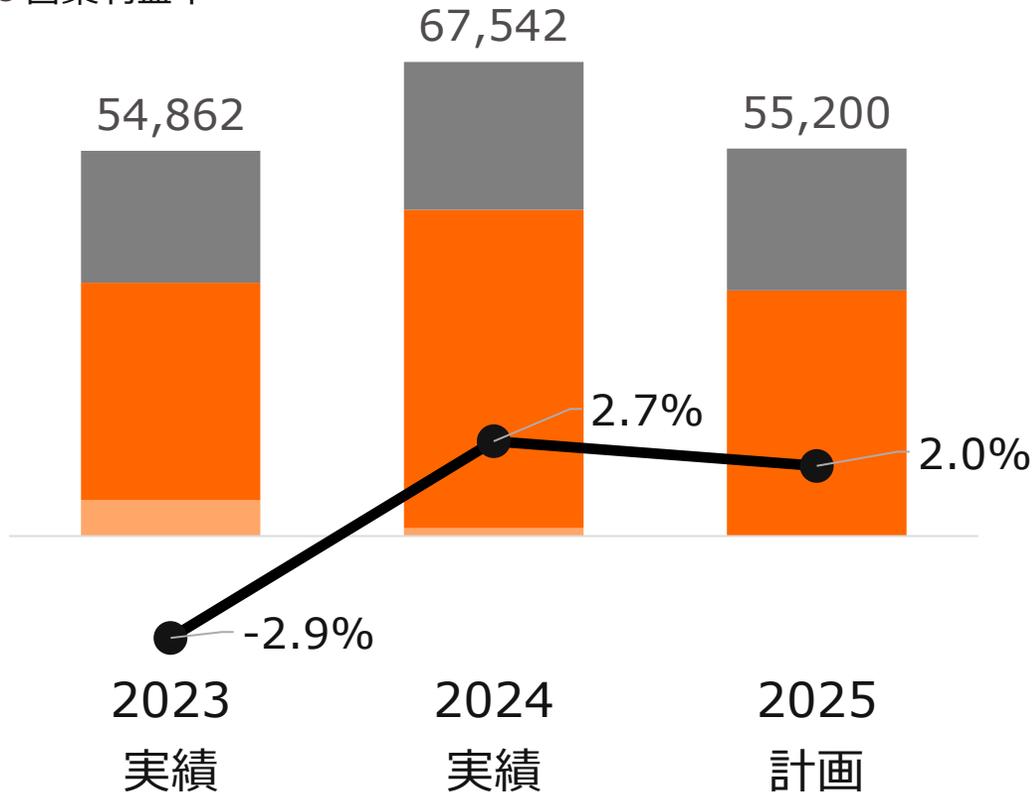
- 加飾：モビリティ、家電とも需要堅調
- サステナブル資材：需要回復
- 収益性が大幅改善
- Cathtek (医療機器向け射出成形) 買収 (2024年10月)

## 2025年の見通し 増収増益

- 加飾：堅調需要が継続、Cathtekの業績が通年寄与
- モビリティ外装向けで量産開始 (Q4)
- サステナブル資材：需要安定

# デバイス事業

■売上高 (■ゲーム機・業務用端末 (物流関連)  
 ・モビリティ向け、ガスセンサーなど  
 ■タブレット向け ■スマートフォン向け) (百万円)  
 ●営業利益率



為替レート	¥138/\$	¥149/\$	¥140/\$
-------	---------	---------	---------

## 2024年の進捗

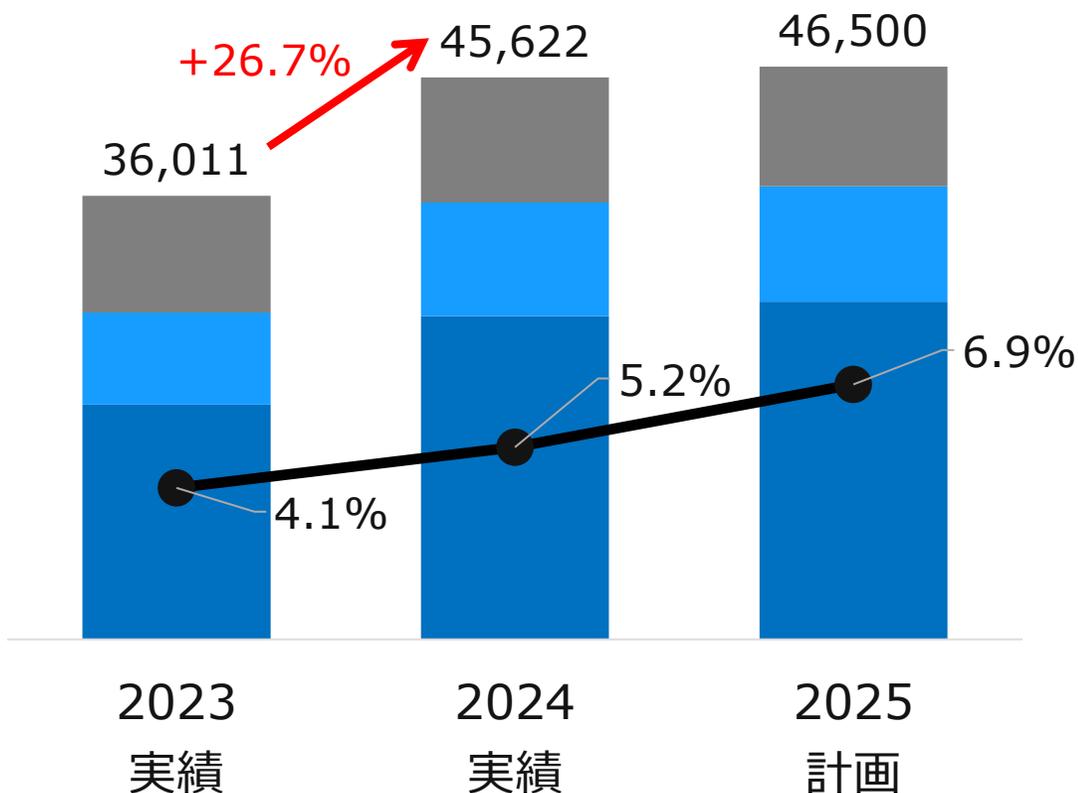
- タブレット
  - 需要は2023年から回復
  - ハイエンドモデルがH2に反動減
- 業務用端末の需要が回復

## 2025年の見通し 減収減益

- タブレット
  - ハイエンドモデルの反動減が継続
- 収益性の追求 (2025年1月～)
  - 需要減少に対応、タッチセンサーの生産を2工場から1工場体制に
  - 固定費20億円を削減し利益を確保

# メディカルテクノロジー事業

■売上高（百万円）  
 （■ビジネスメディア ■医療機器（自社ブランド） ■医療機器（CDMO））  
 ●営業利益率



## 2024年の進捗

- 需要堅調、収益性改善
- Isometric（医療機器向けマイクロ成形）買収（2024年3月）

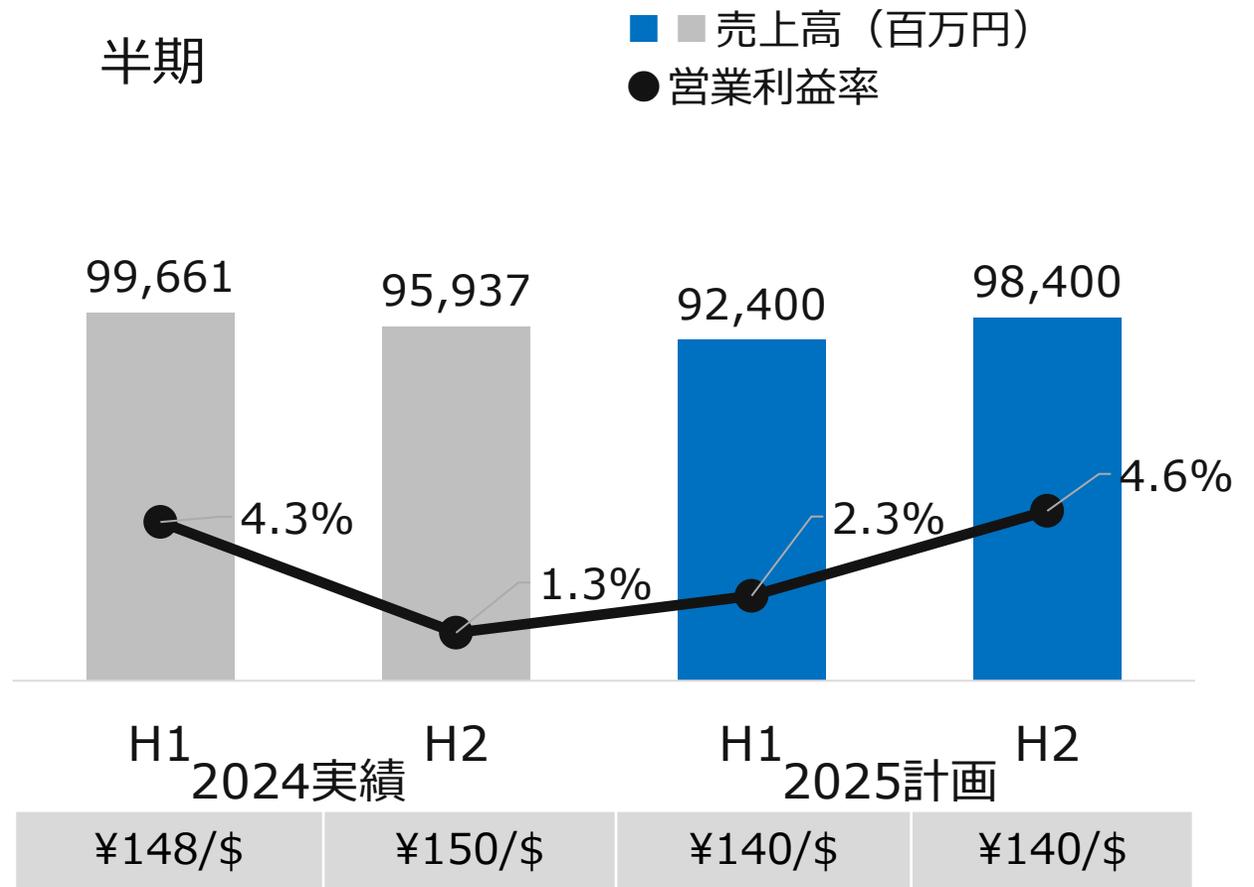
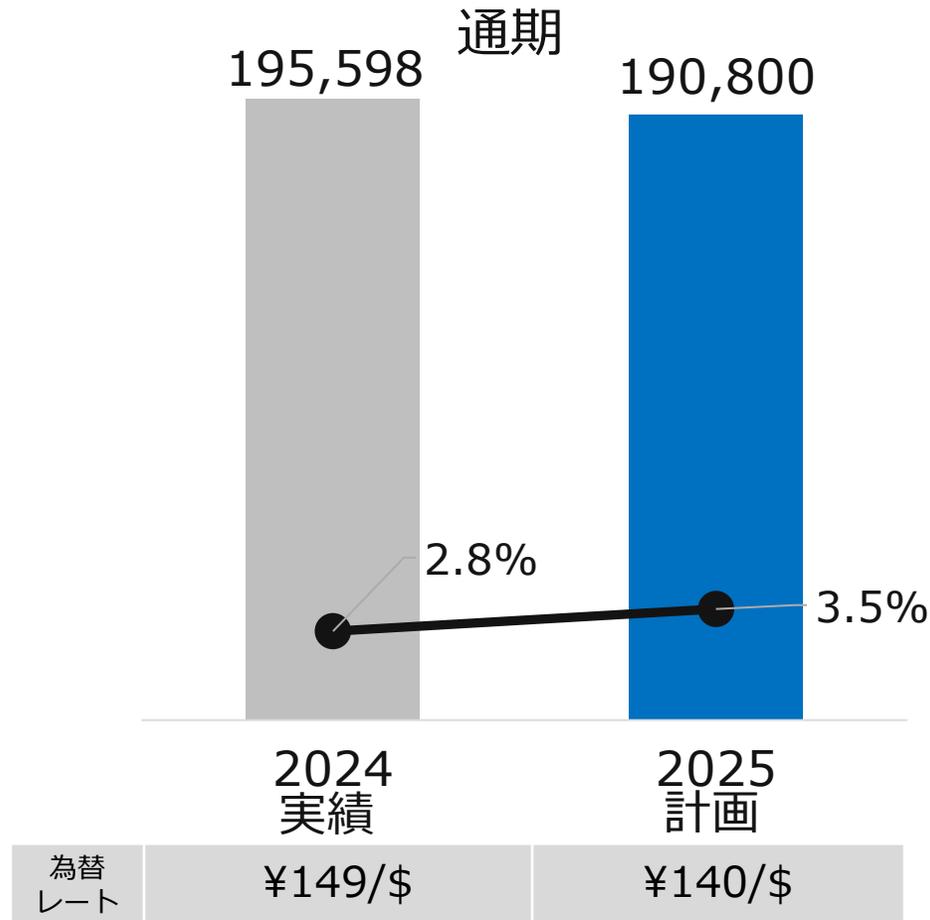
## 2025年の見通し 増収増益

- 成長継続
- 医療機器CDMOは+11%成長（現地通貨ベース）
- 需要増加、一過性費用（M&A費用など）の減少で収益性向上

為替レート	2023	2024	2025
	¥138/\$	¥149/\$	✓ ¥140/\$

# 2025年 業績計画 全社

- H1：タブレット需要の低迷が続く、産業資材、メディカルテクノロジーは堅調
- H2：需要回復により収益性が改善



## 2025年12月期 業績計画

## ●産業資材、メディカルテクノロジーで増収増益

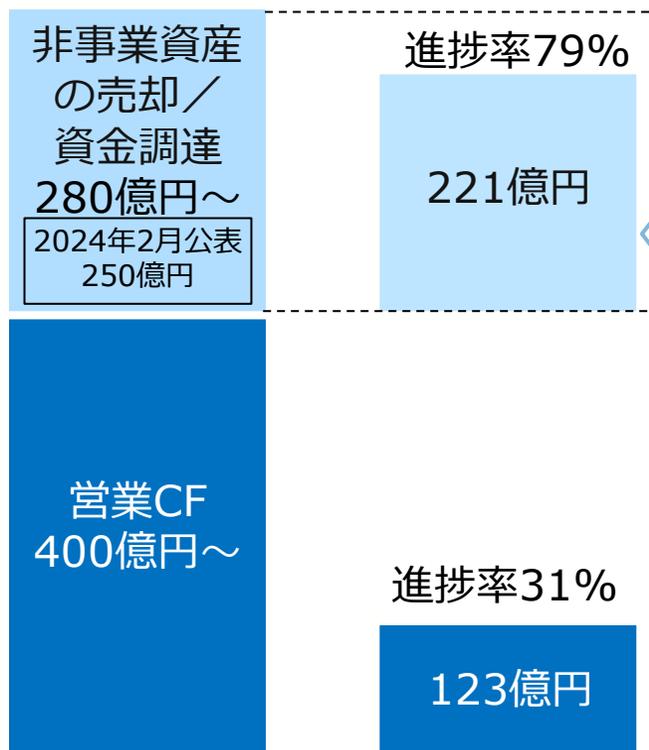
(百万円)

	2024 通期 実績	2025 通期 計画	2025		前期比
			H1 計画	H2 計画	
売上高	195,598	190,800	92,400	98,400	▲2.5%
産業資材	74,090	75,700	37,400	38,300	+2.2%
デバイス	67,542	55,200	25,600	29,600	✓ ▲18.3%
メディカルテクノロジー	45,622	46,500	22,800	23,700	+1.9%
その他	8,343	13,400	6,600	6,800	+60.6%
営業利益	5,486	6,600	2,100	4,500	+20.3%
営業利益率	2.8%	3.5%	2.3%	4.6%	+0.7pt
産業資材	4,900	5,300	2,400	2,900	+8.1%
デバイス	1,798	1,100	0	1,100	✓ ▲38.8%
メディカルテクノロジー	2,388	3,200	1,500	1,700	+34.0%
その他	▲ 3,600	▲ 3,000	▲ 1,800	▲ 1,200	-
税引前利益	6,213	5,700	1,600	4,100	▲8.3%
親会社の所有者に帰属する 当期（四半期）利益	3,862	4,000	800	3,200	+3.6%
為替レート（平均）	¥149/\$	¥140/\$	¥140/\$	¥140/\$	-

# キャッシュアロケーションの更新

## キャッシュイン

2024~2026年  
(3年累計)      2024年  
実績

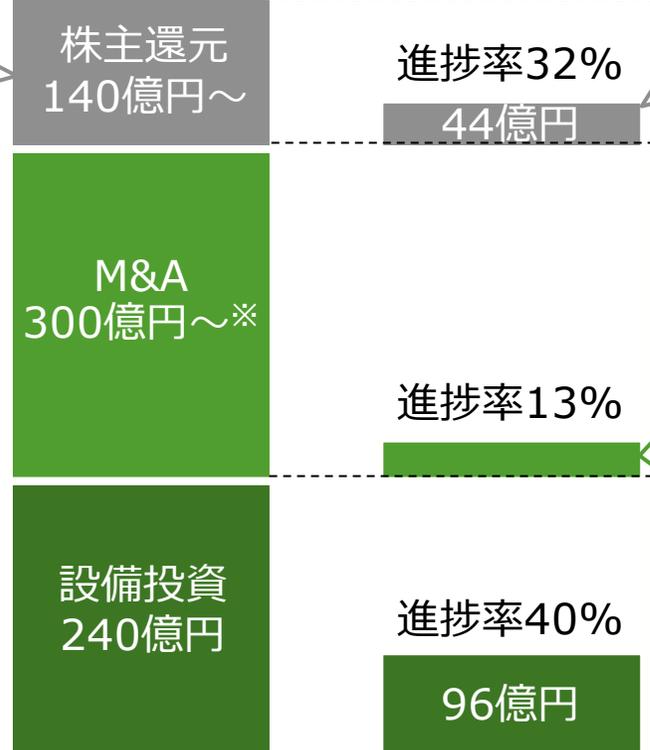


2024年2月公表  
110億円

政策保有株式売却  
81億円  
社債発行 90億円  
借入金 50億円

## キャッシュアウト

2024~2026年  
(3年累計)      2024年  
実績



配当：24億円  
(1株当50円(年間))  
自社株買い：20億円

Cathtek 33億円  
Sparsha 5億円  
(2025年1月クロージングの滋賀県製薬は除く)

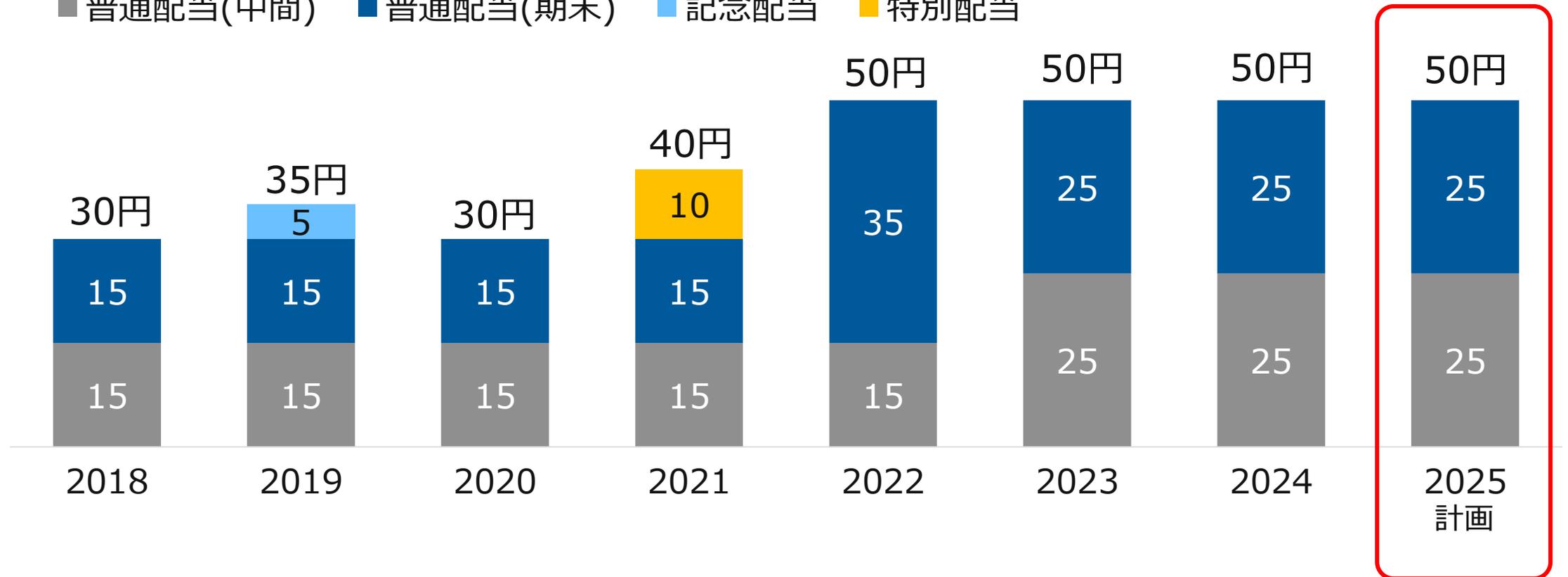
※ Isometric Intermediate LLCの買収を含まない

# 配当

- 中長期の成長を見据え、1株当たりの年間配当金は50円を継続予定

1株当たり年間配当金

■ 普通配当(中間) ■ 普通配当(期末) ■ 記念配当 ■ 特別配当



# 自己株式の取得（2024年）

- 取得理由：株主還元、資本効率の向上

## 取得終了

## 進行中

取得対象株式の種類	当社普通株式	当社普通株式
取得方法	東京証券取引所における市場買付	東京証券取引所における市場買付
取得株式の総数	501,900株 (発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.04 %)	600,000株（上限） (発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.25 %)
株式の取得価額の総額	999,939,700円	1,000,000,000円（上限）
株式の取得期間	2024年8月7日～9月19日	2024年11月11日～2025年3月31日

# 第8次中期経営計画 業績計画

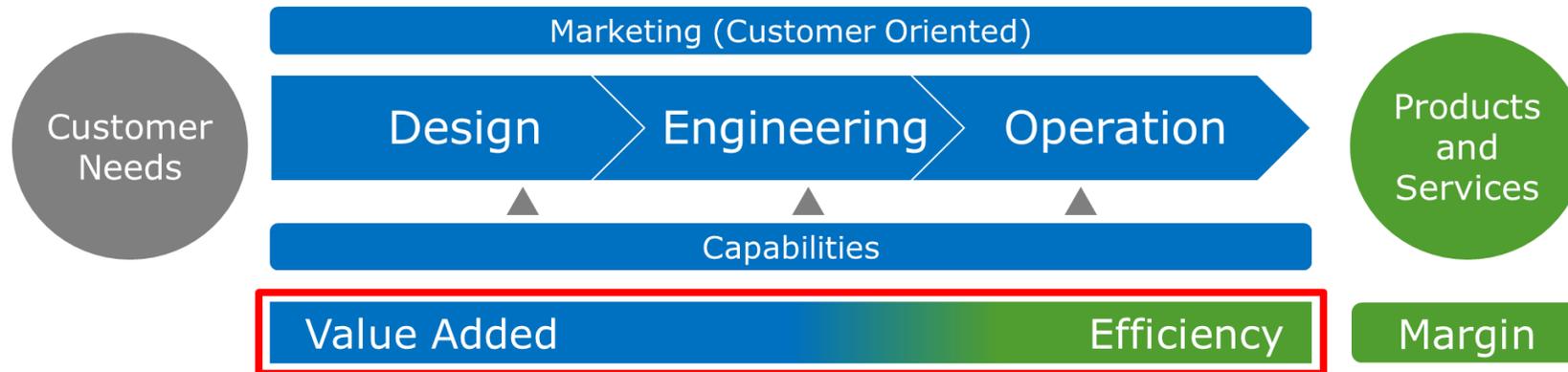
- 非IT機器の重点3市場で営業利益率10%以上
- ROE 9%以上を目指す

(百万円)	第7次中期経営計画			第8次中期経営計画			
	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	2026年 計画※2 (M&A含まない)	2026年 計画※2 (M&A含む)
ROE	17.6%	9.7%	▲ 2.7%	3.4%	3.5%	✓ 9%以上	9%以上
売上高	189,285	193,963	167,726	195,598	190,800	210,000	225,000
営業利益 (営業利益率)	17,363 (9.2%)	9,520 (4.9%)	▲ 3,817 (▲2.3%)	5,486 (2.8%)	6,600 (3.5%)	15,000 (7.1%)	16,500 (7.3%)
非IT機器の重点3市場 営業利益 (営業利益率)	2,698 (3.6%)	※1 4,096 (4.2%)	※1 3,105 (3.2%)	5,557 (5.1%)	8,300 (7.0%)	✓ 13,000 (10.2%)	14,500 (10.2%)
為替レート	¥ 108/\$	¥ 128/\$	¥ 138/\$	¥ 149/\$	¥ 140/\$	¥ 130/\$	¥ 130/\$

# 利益を創出する品質・生産・DX戦略

## ●Operational Excellence

- バリューチェーン（価値を創出するプロセス）全体で付加価値を向上



## ●業務プロセスを上流から変革

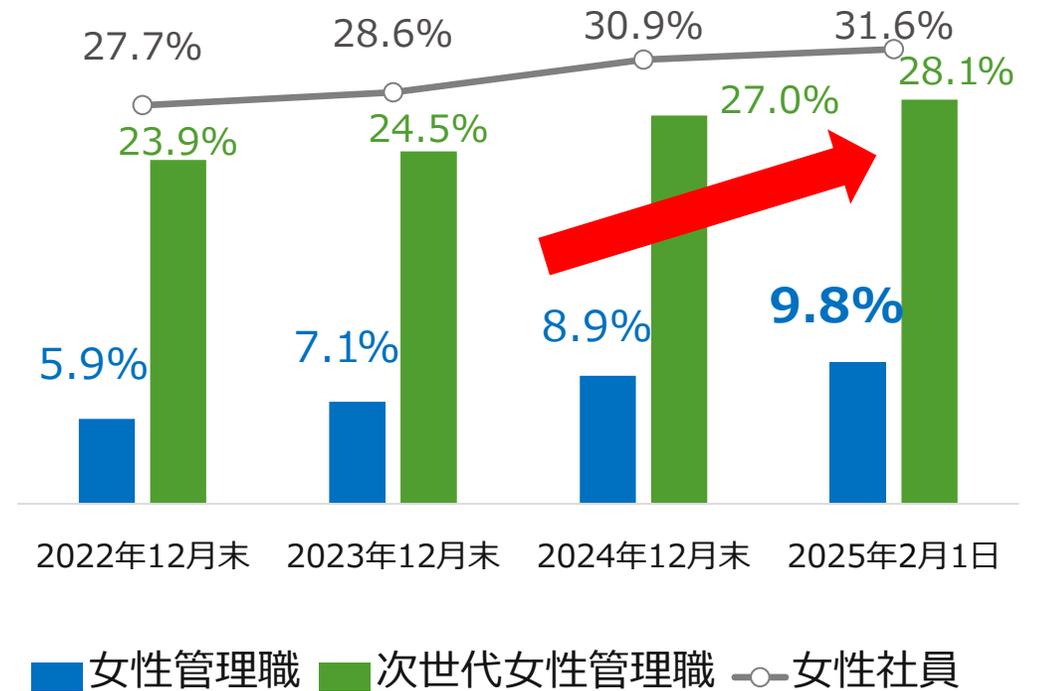
- 設計・開発段階での品質・付加価値の向上
- データに基づく設計の最適化

## ●リーンオペレーションの追求

- ベストプラクティスのグローバル展開
- 生産工程および間接業務の自動化、DX推進

# 人事戦略

- 多様な人材の活躍
  - 女性管理職比率（日本、NISSHA単体）
  
- 人材育成と成果を称える表彰制度
  - Nissha Academy Americas 開校
  - DX人材の育成を強化
  - 成長機会を提供し成果を出した社員を表彰



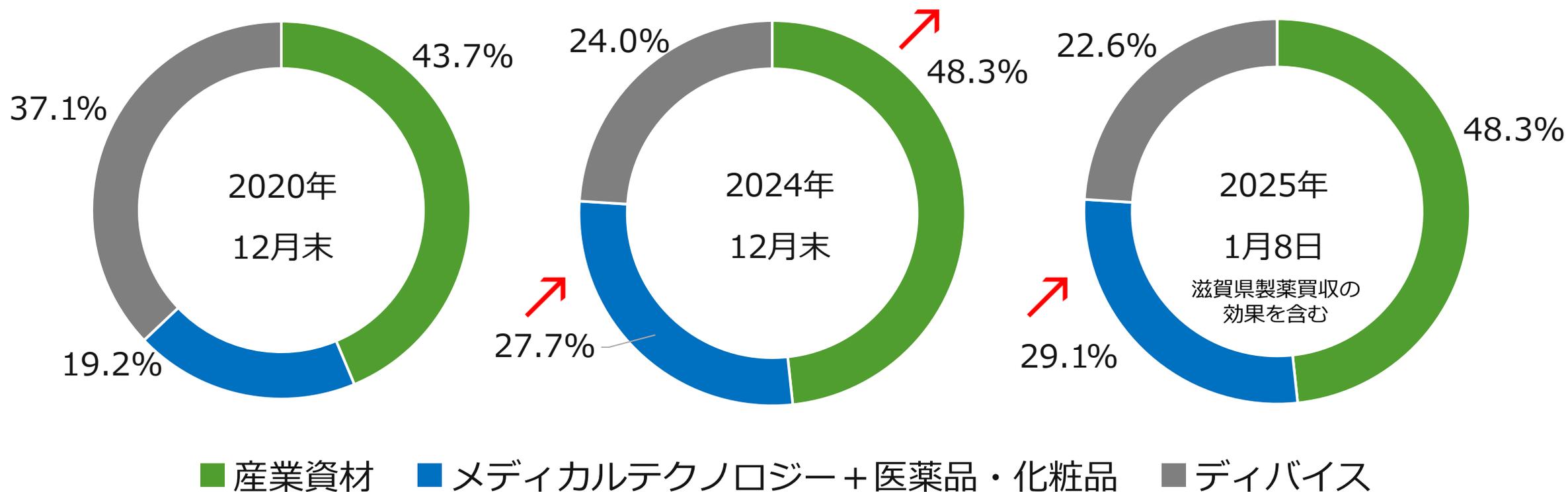
Nissha Academy  
2013年創設



Nissha Academy  
Americas  
2025年1月開校

# 人事戦略

- サステナビリティビジョンに向けた人的ポートフォリオの組み換えが進む



## 気候変動への対応

- 自社CO2排出量の削減（スコープ1,2）
  - 2030年に向け、CO2総排出量30%の削減計画（2020年比）
    - 2024年 約50%削減（計画達成 見込み）
  - 2025年は新たな目標を検討するとともに  
引き続き国内の省エネ化、海外生産拠点の再エネ化に取り組む
  
- サプライチェーン全体での削減（スコープ3）
  - 購入した製品・サービスによるCO2の排出が約60%
    - 主要なサプライヤーさまに削減策への協力を依頼
  - 物流に伴うCO2排出量の削減
    - モーダルシフト（輸送の一部を海上輸送に切り替え）を実施



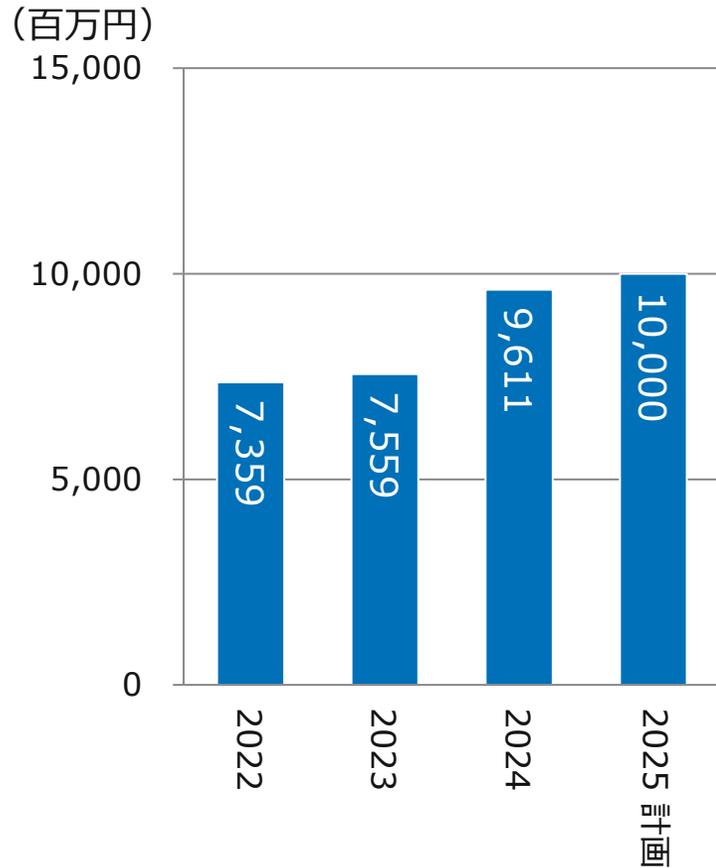
省エネルギー設備の導入  
（滋賀県甲賀市）



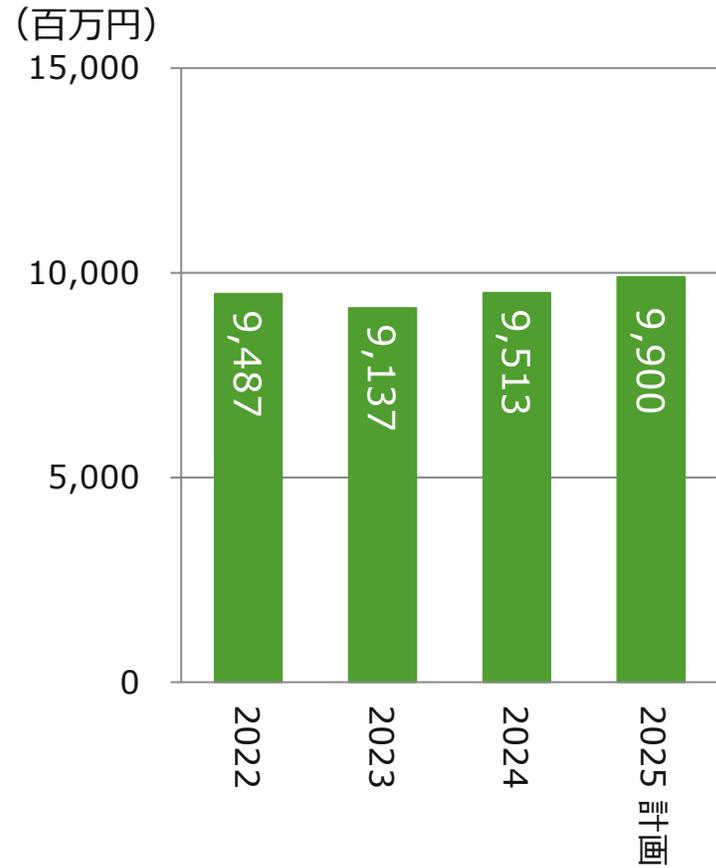
太陽光発電の運用  
（ベルギー）

# 設備投資・減価償却費及び償却費・研究開発費

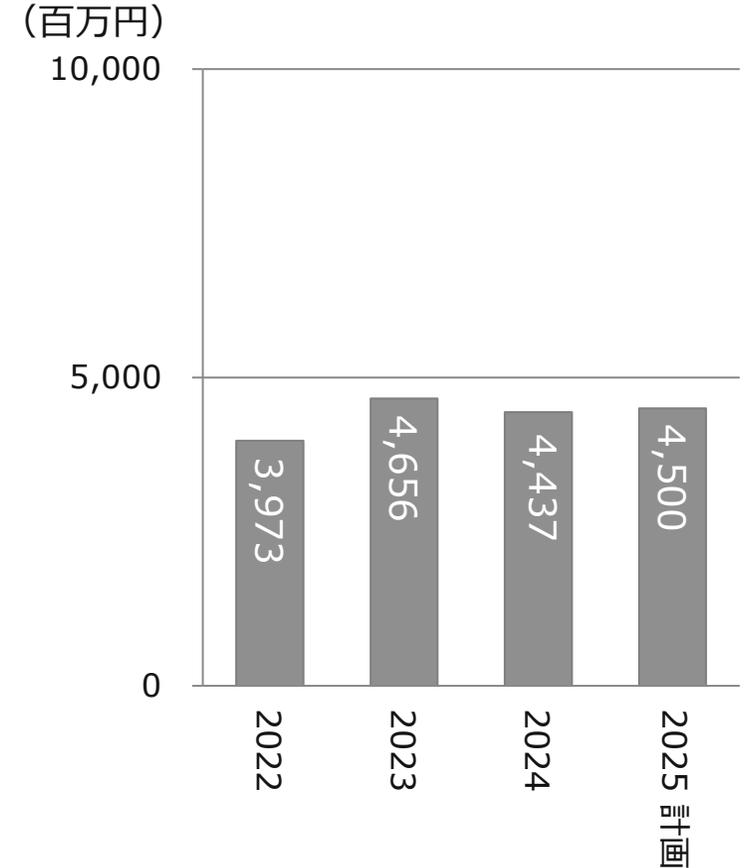
設備投資



減価償却費及び償却費



研究開発費



(ご参考)  
 設備投資・減価償却費及び償却費・M&A投資・  
 研究開発費 (2024年)

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績	第4四半期 (10-12月) 実績
設備投資	2,043	2,808	2,601	2,158
減価償却費 及び償却費	2,290	2,512	2,393	2,316
M&A投資	10,158	540	0	3,328
研究開発費	1,086	1,137	1,071	1,142

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。